

歳入

1 市 税

・ 市民税

(個人市民税)

(単位：人、千円)

区 分	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較(A)-(B)
納税義務者数	53,653	53,188	465
均等割額	185,325	183,495	1,830
所得割額	5,420,224	5,401,958	18,266
分離課税額	40,000	40,000	0
予 算 額	5,645,549	5,625,453	20,096

*積算根拠 (単位：円)

	(調定見込額)	(収納率)	(予算額)
・均等割	3,500円 × 53,653人	× 98.69%	≒ 185,325,000円
・所得割	5,492,172,000円	× 98.69%	≒ 5,420,224,000円
・分離課税退職分	40,000,000円	× 100.00%	= 40,000,000円
		計	5,645,549,000円

(法人市民税)

・ 均等割

(単位：件、千円)

区 分	均等割額 (円)	法 人 件 数		均 等 割 額		
		令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	比 較 (A)-(B)
		総 数	総 数	(A)	(B)	
9号法人	3,000,000	12	12	36,000	36,000	0
8号法人	1,750,000	2	2	3,500	3,500	0
7号法人	410,000	109	114	44,690	46,740	△ 2,050
6号法人	400,000	4	4	1,600	1,600	0
5号法人	160,000	74	70	11,840	11,200	640
4号法人	150,000	20	18	3,000	2,700	300
3号法人	130,000	284	300	36,920	39,000	△ 2,080
2号法人	120,000	8	9	960	1,080	△ 120
1号法人	50,000	1,332	1,311	66,600	65,550	1,050
合 計		1,845	1,840	205,110	207,370	△ 2,260

・法人税割 (税率8.4% ※令和元年10月1日以降開始の事業年度より12.1%から8.4%に変更)

(単位：千円)

令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較(A)-(B)
469,829	1,264,845	△ 795,016

*積算根拠

	(調定見込額)	(収納率)	(予算額)
・均等割	205,110,000円	× 99.86%	≒ 204,822,000円 ①
・法人税割	470,488,000円	× 99.86%	≒ 469,829,000円 ②
	計 ① + ②	=	674,651,000円

・固定資産税

(土地)

土地に関する調べ (免税点含む)

(単位：地積 千㎡、課税標準額 千円)

地目	年度	令和2年度			令和元年度			比較 (A)-(B)
		筆数	地積	課税標準額 (A)	筆数	地積	課税標準額 (B)	
田	調整区域	18,492	19,918	2,277,691	18,515	19,931	2,278,963	△ 1,272
	市街化区域	173	80	129,167	196	94	169,949	△ 40,782
畑	調整区域	9,271	4,694	266,915	9,321	4,712	267,888	△ 973
	市街化区域	1,433	708	1,771,643	1,463	722	1,857,103	△ 85,460
宅地		48,043	13,310	84,159,509	47,857	13,266	84,703,434	△ 543,925
山林	一般	2,124	1,301	40,582	2,124	1,301	40,602	△ 20
	介在	816	392	964,551	834	397	983,154	△ 18,603
池沼		111	80	644	111	80	644	0
原野		710	227	7,287	711	228	7,282	5
雑種地		11,994	4,043	19,722,760	12,104	4,030	20,089,485	△ 366,725
合計		93,167	44,753	109,340,749	93,236	44,761	110,398,504	△ 1,057,755

*積算根拠

(課税標準額) (免税点以下)
 109,340,749,000円 - 172,425,000円 = 109,168,324,000円
 (税率) (税額)
 × 1.4% ≒ 1,528,356,000円
 (税額) (住宅用地特例税額) (減免見込額) (調定見込額)
 1,528,356,000円 - 5,372,000円 - 2,909,000円 = 1,520,075,000円
 (調定額) (収納率) (予算額)
 1,520,075,000円 × 99.09% ≒ 1,506,242,000円

(家屋)

(単位：床面積 千㎡、課税標準額 千円)

区分	令和2年度		令和元年度		比較 (A)-(B)
	床面積	課税標準額 (A)	床面積	課税標準額 (A)	
既存分	6,234	202,694,715	6,170	195,896,572	6,798,143
新增分	77	5,693,143	96	7,317,000	△ 1,623,857
合計	6,311	208,387,858	6,266	203,213,572	5,174,286

(家屋)

*積算根拠

$$\begin{array}{l}
 \text{(課税標準額)} \qquad \qquad \text{(税率)} \qquad \qquad \text{(税額)} \\
 208,387,858,000\text{円} \times 1.4\% \quad \div \quad 2,917,430,000\text{円} \\
 \text{(税額)} \qquad \text{(新築軽減・減免等)} \qquad \text{(調定見込額)} \\
 2,917,430,000\text{円} - 116,183,000\text{円} = 2,801,247,000\text{円} \\
 \text{(調定見込額)} \qquad \text{(収納率)} \qquad \text{(予算額)} \\
 2,801,247,000\text{円} \times 99.09\% \quad \div \quad 2,775,755,000\text{円}
 \end{array}$$

(償却資産)

(単位：千円)

区分	年度	令和2年度		令和元年度		比較 (A)-(B)
		件数	調定見込額 (A)	件数	調定見込額 (B)	
市長決定		622	826,483	589	771,697	54,786
総務大臣配分		14	211,673	14	218,678	△ 7,005
知事配分		2	8,627	2	8,834	△ 207
合計		638	1,046,783	605	999,209	47,574

*積算根拠

$$\begin{array}{l}
 \text{(調定見込額)} \qquad \text{(収納率)} \qquad \text{(予算額)} \\
 1,046,783,000\text{円} \times 99.09\% \quad \div \quad 1,037,257,000\text{円}
 \end{array}$$

(国有資産等所在市町村交付金および納付金)

(単位：円)

区分	年度	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較 (A)-(B)
茨城県 管財課		2,237,900	2,317,000	△ 79,100
茨城県 住宅課		47,200	47,200	0
茨城県 企業局		2,423,600	2,423,600	0
関東財務局		192,200	199,900	△ 7,700
裁判所		300	300	0
合計		4,901,200	4,988,000	△ 86,800

・軽自動車税

(種別割)

(単位：台、円)

区 分	税額 (円)	令和2年度		令和元年度		比 較 (C)-(D)				
		課税台数 (A)	調定額 (C)	課税台数 (B)	調定額 (D)					
原動機付自転車	50cc以下	2,000	3,277	6,554,000	3,444	6,888,000	△ 334,000			
	51cc～90cc	2,000	281	562,000	284	568,000	△ 6,000			
	91cc～125cc	2,400	861	2,066,400	846	2,030,400	36,000			
	ミニカー	3,700	64	236,800	52	192,400	44,400			
	小 計		4,483	9,419,200	4,626	9,678,800	△ 259,600			
小型特殊	農耕用作業用	2,400	1,133	2,719,200	1,133	2,719,200	0			
	特殊作業用	5,900	67	395,300	66	389,400	5,900			
	小 計		1,200	3,114,500	1,199	3,108,600	5,900			
軽自動車	二 輪 車	3,600	1,067	3,841,200	1,059	3,812,400	28,800			
	四 輪 車	自家用	乗 用	5,400	277	1,495,800	378	2,041,200	△ 545,400	
				7,200	8,836	63,619,200	10,367	74,642,400	△ 11,023,200	
				8,100	502	4,066,200	439	3,555,900	510,300	
				10,800	4,999	53,989,200	3,926	42,400,800	11,588,400	
				12,900	3,839	49,523,100	3,744	48,297,600	1,225,500	
				小 計		18,453	172,693,500	18,854	170,937,900	1,755,600
	四 輪 車	自家用	貨 物	3,800	24	91,200	6	22,800	68,400	
				4,000	1,444	5,776,000	1,646	6,584,000	△ 808,000	
				5,000	879	4,395,000	656	3,280,000	1,115,000	
				6,000	1,564	9,384,000	1,652	9,912,000	△ 528,000	
				小 計		3,911	19,646,200	3,960	19,798,800	△ 152,600
				四 輪 車	営業用	貨 物	2,900	2	5,800	5
	3,000	78	234,000				86	258,000	△ 24,000	
	3,800	52	197,600				31	117,800	79,800	
	4,500	26	117,000				22	99,000	18,000	
	小 計		158				554,400	144	489,300	65,100
小 計		23,589	196,735,300				24,017	195,038,400	1,696,900	
二輪の小型自動車	6,000	1,474	8,844,000	1,454	8,724,000	120,000				
合 計		30,746	218,113,000	31,296	216,549,800	1,563,200				

*積算根拠 調定見込額 218,113,000円×収納率 97.70%≒213,094,000円 (予算額)

(環境性能割)

*積算根拠 県税込見込 387,344,000円×H30課税台数比実績 2.545%≒9,857,000円(予算額)

・市たばこ税

(単位：本、円)

区分	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較(A)-(B)
課税標準本数	94,789,238	104,518,008	△ 9,728,770
税額	556,523,000	587,720,000	△ 31,197,000

*積算根拠

- 令和2年度たばこ販売本数見込み(令和元年度推定販売本数×伸び率)

$$99,568,528 \text{本} \times 0.952 = 94,789,238 \text{本}$$

- 従量割 課税標準額

$$94,789,238 \times 7/12 \times 5,692/1,000 + 94,789,238 \times 5/12 \times 6,122/1,000 \doteq 556,523,000 \text{円}$$

※令和2年10月1日から税率改正。1,000本あたり5,692円から6,122円。

・都市計画税

(土地) 納税義務者数及び課税標準額 (免税点以上)

(単位：人、千円)

項目	令和2年度		令和元年度		比較(A)-(B)	比較(C)-(D)
	納税義務者数(A)	課税標準額(C)	納税義務者数(B)	課税標準額(D)		
土地	26,599	126,864,323	26,401	127,870,840	198	△ 1,006,517

※納税義務者数の合計は、法人も含めた実数である。

*積算根拠

(課税標準額)

$$126,864,323,000 \text{円} \times \text{税率} 0.3\% \doteq 380,592,000 \text{円}$$

(税額)

(住宅用地特例税額)

(減免見込額)

(調定見込額)

$$380,592,000 \text{円} - 684,000 \text{円} - 460,000 \text{円} = 379,448,000 \text{円}$$

(調定額)

(収納率)

(予算額)

$$379,448,000 \text{円} \times 99.11\% \doteq 376,070,000 \text{円}$$

(家屋)

(単位：床面積 千㎡、課税標準額 千円)

区分	令和2年度		令和元年度		比較(A)-(B)
	床面積	課税標準額(A)	床面積	課税標準額(B)	
既存分	5,010	173,394,000	4,955	167,001,000	6,393,000
新增分	70	5,222,334	81	6,949,667	△ 1,727,333
合計	5,080	178,616,334	5,036	173,950,667	4,665,667

*積算根拠

(課税標準額)

(税率)

(税額)

$$178,616,334,000 \text{円} \times 0.30\% \doteq 535,849,000 \text{円}$$

(税額)

(減免等)

(調定見込額)

$$535,849,000 \text{円} - 525,000 \text{円} = 535,324,000 \text{円}$$

(調定見込額)

(収納率)

(予算額)

$$535,324,000 \text{円} \times 99.11\% \doteq 530,559,000 \text{円}$$

令和2年度市税滞納繰越予算計上積算表

(単位：円)

税目	R元年度末 調定見込額 (A)	収入 見込率 (B)	収入見込額 (A) × (B) = (C)	不納欠損 見込額 (D)	R2年度への 滞納繰越見込額 (R2調定額) (A)-(C)-(D) = (E)	徴収 見込率 (F)	徴収見込額 (E) × (F) = (G)	30年度 収納率 (参考)
個人市民税	5,871,467,559	97.62%	5,731,857,188	12,919,000	126,690,000	59.50%	75,380,550	56.54%
前年度分	5,722,727,000	98.69%	5,647,759,276	0	74,967,000	59.50%	44,605,365	
前々年度以前分	148,740,559	56.54%	84,097,912	12,919,000	51,723,000	59.50%	30,775,185	
法人市民税	722,806,678	99.04%	715,887,813	1,000,000	5,918,000	21.50%	1,272,370	18.46%
前年度分	715,550,000	99.86%	714,548,230	0	1,001,000	21.50%	215,215	
前々年度以前分	7,256,678	18.46%	1,339,583	1,000,000	4,917,000	21.50%	1,057,155	
固定資産税	5,506,847,372	97.43%	5,365,299,065	8,150,000	133,398,000	43.50%	58,028,130	40.54%
前年度分	5,350,680,000	99.09%	5,301,988,812	0	48,691,000	43.50%	21,180,585	
前々年度以前分	156,167,372	40.54%	63,310,253	8,150,000	84,707,000	43.50%	36,847,545	
軽自動車税	224,464,504	94.75%	212,673,526	794,000	10,996,000	38.90%	4,277,444	35.93%
前年度分	213,733,900	97.70%	208,818,020	0	4,915,000	38.90%	1,911,935	
前々年度以前分	10,730,604	35.93%	3,855,506	794,000	6,081,000	38.90%	2,365,509	
市たばこ税	0	100.00%	0	0	0	0.00%	0	0.00%
前々年度以前分	0	100.00%	0	0	0	0.00%	0	
都市計画税	928,900,035	97.41%	904,862,832	1,424,000	22,612,000	43.50%	9,836,220	40.54%
前年度分	901,975,000	99.11%	893,947,423	0	8,027,000	43.50%	3,491,745	
前々年度以前分	26,925,035	40.54%	10,915,409	1,424,000	14,585,000	43.50%	6,344,475	
合計	13,254,486,148	97.56%	12,930,580,424	24,287,000	299,614,000	49.66%	148,794,714	47.09%
前年度計	12,904,665,900	98.93%	12,767,061,761	0	137,601,000	51.89%	71,404,845	
前々年度以前計	349,820,248	46.74%	163,518,663	24,287,000	162,013,000	47.77%	77,389,869	

※ 滞納繰越分の予算額は、それぞれ各税目千円未満切り捨てで計上しているため、端数の関係で合計とは一致しない。

(単位：千円、%)

歳入項目	2年度	元年度	増減額	増減率	概要
2 地方譲与税	327,061	313,000	14,061	4.5	
自動車重量譲与税	235,000	227,000	8,000	3.5	道路特定財源の一般財源化に伴い、市町村道整備の財源としての使途制限を廃止。自動車重量税総額の100分の40.7が市町村に譲与されるもので、道路の延長及び面積に按分して譲与される。
地方揮発油譲与税	83,000	86,000	△ 3,000	△ 3.5	道路特定財源の一般財源化に伴い、地方道路譲与税の名称を地方揮発油譲与税に改正。地方揮発油税総額の100分の42が道路の延長及び面積に按分して市町村に譲与される。
森林環境譲与税	9,061	0	9,061	皆増	森林環境譲与税総額の10分の9に相当する金額を市町村に対し私有林人工林面積、林業就業者数、人口に按分して譲与される。※ただし、令和6年度までの譲与割合は10分の8
3 利子割交付金	13,000	18,000	△ 5,000	△ 27.8	個人の納めた県民税利子割の100分の59.4に相当する金額を市町村に対し個人県民税の額に按分して交付される。
4 配当割交付金	59,000	66,000	△ 7,000	△ 10.6	県に納入された配当割額の100分の59.4に相当する金額を市町村に対し個人県民税の額に按分して交付される。
5 株式等譲渡所得割交付金	32,000	59,000	△ 27,000	△ 45.8	県に納入された株式等譲渡所得割額の100分の59.4に相当する金額を市町村に対し個人県民税の額に按分して交付される。
6 法人事業税交付金	130,000	0	130,000	皆増	県に納入された法人事業税額の100分の7.7に相当する金額を市町村に対し従業員数に按分して交付される。※ただし、令和2年度の交付率は100分の3.4(法人税割額で按分)
7 地方消費税交付金	2,128,000	1,793,000	335,000	18.7	
一般分	920,000	974,000	△ 54,000	△ 5.5	地方消費税の2分の1に相当する金額を、直近の国勢調査の人口、事業所統計の従業者数により按分して交付される。
社会保障財源化分	1,208,000	819,000	389,000	47.5	地方消費税の引上げ分について、全額国勢調査の人口により按分し交付される。
8 ゴルフ場利用税交付金	48,000	49,000	△ 1,000	△ 2.0	県に納入された当該市町村に所在するゴルフ場に係るゴルフ場利用税の10分の7に相当する金額が交付される。
9 環境性能割交付金	36,000	15,000	21,000	140.0	消費税率引上げに伴い、自動車取得税に代わり導入された自動車税環境性能割について、県に納入された金額の100分の44.65に相当する金額が、市町村に道路の延長及び面積に按分して交付される。
10 地方特例交付金	95,000	80,000	15,000	18.8	
個人市民税減収補てん特例交付金	81,000	71,000	10,000	14.1	所得税から個人市民税への税源移譲により、所得税で控除しきれない住宅借入金等特別税額控除(ローン控除)を個人市民税から控除することとなったことに伴い、市町村に生じる減収を補てんするため交付される。
自動車税減収補てん特例交付金	7,000	8,000	△ 1,000	△ 12.5	消費税率引上げにあわせた特例措置として、令和元年10月から令和2年9月まで自家用乗用車の環境性能割の税率が1%軽減されることに伴い、市町村に生じる減収を補てんするため交付される。
軽自動車税減収補てん特例交付金	7,000	1,000	6,000	600.0	

※ () の数字は6月補正後の予算額を表記。

(単位：千円、%)

歳入項目	2年度	元年度	増減額	増減率	概要
11 地方交付税	7,259,678	6,233,586	1,026,092	16.5	
普通交付税	6,690,000	5,870,000	820,000	14.0	国税のうち所得税・法人税・酒税・消費税・地方 法人税を原資とし、基準財政需要額が基準財政収 入額を超える団体に交付される。 令和元年度実績 6,108,512千円 (令和元年度実績との差 +581,488千円)
特別交付税	362,000	359,000	3,000	0.8	普通交付税で捕捉されない特別の財政需要に対 し、地方交付税総額の6%が交付される。
震災復興特別交付税	207,678	4,586	203,092	4,428.5	東日本大震災による被災団体の復旧・復興事業費 及び地方税法の規定に基づく減収分等に対し交付 される。
12 交通安全対策 特別交付金	14,000	14,000	0	0.0	交通安全施設整備の財源として交付されるもの で、交付基準は交通事故発生件数と人口集中地区 人口が基礎となり交付される。
13 分担金及び負担金	152,672	233,263	△ 80,591	△ 34.5	民間保育園入所児保護者負担金、一時的保育事業 保護者負担金、取手北相馬休日夜間緊急診療所運 営費負担金、常総地域病院群輪番制病院運営費負 担金、放課後児童対策事業保護者負担金等
14 使用料及び手数料	313,060	414,089	△ 101,029	△ 24.4	・使用料(自転車駐車場、公立保育所、道路・住 宅・公園、体育館・テニスコート、公民館・ギャ ラリー等) ・手数料(戸籍関係、し尿処理、粗大ごみ収集運 搬、建築確認等)
15 国庫支出金	5,165,705	5,364,128 (5,218,397)	△ 198,423 (△52,692)	△ 3.7 (△1.0)	各事業及び事務にかかる負担金、補助金、委託金 (生活保護費負担金1,473,000千円、児童手当負 担金991,400千円、子どものための教育・保育給 付費負担金927,303千円、自立支援給付費負担金 779,500千円)
16 県支出金	2,529,404	2,395,818	133,586	5.6	各事業及び事務にかかる負担金、補助金、委託金
17 財産収入	58,108	60,867	△ 2,759	△ 4.5	土地売却収入、土地貸付料、利子等
18 寄附金	100,159	50,182	49,977	99.6	一般寄附金、ふるさと取手応援基金寄附金、平和 基金寄附金、みどりの基金寄附金等
19 繰入金	1,322,962	1,415,978 (1,452,320)	△ 93,016 (△129,358)	△ 6.6 (△8.9)	・基金繰入金 財政調整基金繰入金700,000千円、減債基金繰入 金400,000千円、みどりの基金繰入金8,981千円、 公共施設整備基金繰入金100,770千円、学校施設 整備基金繰入金33,728千円、ふるさと取手応援基 金繰入金71,185千円、環境基金繰入金90千円、地 域福祉基金繰入金1,467千円、平和基金繰入金621 千円、高齢者福祉基金繰入金1,020千円 ・特別会計繰入金 後期高齢者医療特別会計繰入金100千円、介護保 険特別会計繰入金5,000千円
20 繰越金	500,000	500,000	0	0.0	令和元年度からの繰越金
21 諸収入	801,340	757,972	43,368	5.7	市税延滞金、預金利子、貸付金元利収入、受託事 業収入、収益事業収入、給食事業収入、雑入
22 市債	2,395,600	4,305,900 (4,127,800)	△ 1,910,300 (△1,732,200)	△ 44.4 (△42.0)	民生債、農林水産業債、土木債、消防債、教育 債、合併特例債、緊急防災・減災事業債、臨時財 政対策債
うち臨時財政対策債	1,340,000	1,480,000	△ 140,000	△ 9.5	令和元年度実績 1,381,257千円 (令和元年度実績との差 △41,257千円)
自動車取得税交付金	0	42,000	△ 42,000	皆減	令和元年10月の消費税率引上げに伴い廃止